



続・輝く瞳に会いに行こう

NPO 法人タイ国学生日本語教育環境支援プロジェクト理事長
チェンライ RC 原田 義之様

卓話者紹介

奥山 聡幹事

原田様は 1943 年福島県生まれ。当クラブは、2012 年からアカ族の子供たちが寄宿している「夢の家」を中心に支援しています。

タイ国立ダムロン高校でボランティアの日本語の教師をしております。今年で 10 年目に突入します。週末にはアカ族の子供寮「夢の家」「若竹寮」「メコン寮」「バンセンスック寮」の 143 名の子供たちの識字と給食の支援をしております。そして、2013-2014 年度、北タイ・チェンライ RC、第 47 代会長に就任致しました。タイ国ロータリー史上、日本人の会長は初めてです。

私は今から 9 年前までの 15 年間、北タイの山岳民族の小学校 50 校に図書寄贈をし続けました。そこで知ったのは、アカ族子供たちの識字率の低さです。識字率の低い男の子は今でも町に出て働き日当 600 円、女の子は茶摘みの仕事で 1 日 25 キロ、日当 450 円です。

識字率というのは、国の 15 歳以上の女性が、母国語で読み書きができる割合です。タイは 92.8%と世界でも高い国です。また、ユネスコ調査によりますと、パプアニューギニアは 52.6%です。世界には低識字率の国はたくさんあります。ここで起きてる問題は識字率が 50%台の国の女性の出生数は 4.5 人です。これはやがて、人口問題、食料問題、エネルギー問題、そして、結果的には環境問題になります。従って、識字率を上げることは地球的規模の活動だと思っております。

私のいるチェンライからミャンマーやラオスとの国境の町、メイサイまでの 60 キロの間に、麻薬検問所が 3 か所あります。今でも麻薬の取引が行われているのです。識字の低い男の子は、家族の為、高額な麻薬の運び屋に転じる子供がいます。識字のない 14 歳の女の子の親も識字はありません。騙されてバンコクやプーケットに連れて行かれ、売春の道に入り、その後エイズに感染し戻ってくるという現実があるのです。チェンマイには「エイズ療養所」があります。エイズに感染した若い女性のための最後の癒しの場なのです。

私は 9 年前にロータリーに入って、20 年目を迎えました。動に移すことを決意し、北タイ、アカ族の村に行く準備を始めました。現職から身を引き、昼は兵庫国際協会の外国人向けの日本語講習で資格を取得、夜はタイ語の教室に通い、教壇に立つ準備をしました。辛い 64 歳の手習いでしたが、夢大きい挑戦でもありました。私は、アカ族子供寮「夢の家」最前線の町、チェンライの日本語学科のあるダムロン高校の校長に直訴し、ボランティア教師になりました。学校からは一銭たりとも受け取らず今年で 10 年目に入ります。

北タイはミャンマー、ラオス、カンボジアに囲まれた約 3,000 キロの地続きの国境です。国境沿いには少数民族の集落を構成しています。タイ社会で生きて行くためには、タイ語を身につけなければなりません。その子供たちがタイ語を身につけるためには 30 キロ離れた小学校に通わなければなりません。タイの識字率は 92.8%ですが、アカ族の識字率は 52.6%と低いです。識字率の低いアカ族の母親の出生数は 4.5 人です。1 家族 9 名の生活を支える農業月収は 1 万円に満たないのです。だから、少数民族の子供は誰かが助けて初めて学校でタイ語が学べるのです。

2014 年、ノーベル平和賞を受賞したマララさんは、

2013 年 7 月 12 日の国連演説で、「1 人の子ども、1 人の教師、1 冊の本、そして 1 本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。」と。

お茶の水 RC からは、2012 年からアカ族の子供たちへの図書支援を受け、現在も続いています。昨年は奥山さんと奥山さんのお嬢さんにも現地に来て頂きました。長年の積み重ねで図書が完成しております。昨年の支援では夢の家の子供たちに、1 泊 2 日の旅行をプレゼントして頂きました。こんなに頑張った子供たちに食べ放題の焼き肉をプレゼントしました。

9 年間続けている日本文化イベント「Japan Day」を今年も 11 月に開催します。お茶の水 RC からはお習字を教えて頂いたり、書道セット一式も頂いております。また、アカ族の子供にお菓子のプレゼントもして頂きました。

私の活動の講演が 228 回目になります。「アカ族の子供たちを、タイ政府や、タイ国民はなぜ助けられないのですか。」と私に質問を向けられますが、それはナンセンスです。私は奉仕の蛇口を貧困の上に向けているのです。ロータリアンとして一滴の水でも届ける。それがロータリアンの使命だと思って行動しております。また、こんな質問もあります。「あなた一人が北タイに入ってどれほどの役にたつのか」と。これもナンセンスです。太平洋たりとも、日本海たりとも、たった一滴の水で大海をなしております。世界の平和も一人一人の優しい気持ちで平和になると私は信じております。

お蔭さまで埼玉の RC よりグローバル補助金で、1,200 人のワヴィ村に水支援を頂きました。また、今年の 1 月にアカ族バーン・メーサレ村に埼玉の蓮田 RC から水支援を頂きました。アカ族の女性は、毎日 3 キロ離れた所まで水を汲みに行っています。硬水なので飲めるものではありません。これらの支援により、800 年、雨水を飲んでいたアカ族の村に、蛇口をひねれば飲める水「魔法の水」が届きました。ロータリーの支援はまさしく「平和のプレゼント」です。

今、私の活動を支える全国のロータリアンがいます。お蔭さまで、「アカ族子供就学支援基金」を作って頂きました。12 名の里親を抱えています。タイで 1 人、1 年間 5 万円の支援で高校、大学に通うことができます。「アカ族の子供だから勉強しなくてもいい。」そんなことはありません。アカ族の子供でも優秀であれば、学ぶ機会を与えてあげる、そんな考え方で 12 名を支えています。

閉会点鐘

小田 孝志会長

卓話予定

- 5/31 「不動産の価値を高めるために知っておくべきこと」
(株) 不動産鑑定ブレインズ・東京本郷 RC
山路 敏之様
- 6/ 7 「EU と盟主ドイツの現状 (仮題)」
東海大学 名誉教授 前島 巖様
- 6/14 「最近の雇用情勢 (仮題)」
元 (株) リクルート代表取締役社長 柏木 斉様
- 6/21 「次年度事業計画の発表」次年度委員長
- 6/28 「最終例会に当たり」小田会長・奥山幹事